

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3374 URL http://www.naigaitec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 政彦 TEL 03-5433-1123
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,852	4.0	464	64.4	449	70.5	350	73.1
28年3月期第3四半期	14,278	17.3	282	114.3	263	186.4	202	153.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 376百万円 (89.0%) 28年3月期第3四半期 199百万円 (81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	143.98	—
28年3月期第3四半期	83.17	—

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,513	2,442	19.5
28年3月期	11,385	2,090	18.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,442百万円 28年3月期 2,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当は5円となり、1株当たり年間配当は5円となります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,584	0.3	631	2.7	601	2.9	403	△9.2	166.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	2,536,000株	28年3月期	2,536,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	208,075株	28年3月期	104,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	2,431,547株	28年3月期3Q	2,432,008株

※平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 株式併合後の配当及び業績予想について

当社は、平成28年6月23日開催の第55回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成29年3月期の配当予想
1株当たりの配当金 期末配当 5円00銭
- 2. 平成29年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 83円02銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出の持ち直し、高水準な企業収益、設備投資の増加傾向などを背景に引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。世界的にも、新興国の一部に弱さが残るものの、堅調な米国経済や中国の景気持ち直しなどによって、緩やかな経済成長が続きました。

当社グループの業績に大きな影響を与える半導体・半導体製造装置市場の状況は、スマートフォン等の高機能化、大容量化やサーバーの高性能化の潮流によって、ロジック半導体や3D NAND型フラッシュメモリ等の先端技術への設備投資が引き続き積極的に行われ、半導体製造装置メーカーの販売は概ね堅調に推移いたしました。また、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置市場では、モバイル用途の中小型パネル向けの設備投資が堅調に推移し、中国を中心に旺盛な大型液晶パネル向け設備投資が継続したことから、FPD製造装置メーカーの販売は概ね堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が堅調に推移したことから、売上高148億52百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益4億64百万円（前年同期比64.4%増）、経常利益4億49百万円（前年同期比70.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億50百万円（前年同期比73.1%増）となりました。

なお、当社グループが開発中の「医療用酸素濃縮器内臓麻醉器」は、現在、PMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）で、その製造販売の承認について審査中であり、承認の可否、時期等については、現在のところ未定であります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ（部品）及び同装置等の販売事業におきましては、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が堅調に推移したことにより、売上高137億13百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益2億43百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

②受託製造事業

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、保守メンテナンス事業及び主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が堅調に推移したことにより、売上高19億1百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益2億2百万円（前年同期比221.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億27百万円増加し、125億13百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が12億77百万円、電子記録債権が3億26百万円、有形固定資産が1億76百万円、無形固定資産が92百万円増加し、受取手形及び売掛金が8億48百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億76百万円増加し、100億71百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務が10億11百万円増加、社債及び長期借入金（1年内を含む）の純減少額2億70百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億51百万円増加し、24億42百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益3億50百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の18.4%から19.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,127,392	4,404,528
受取手形及び売掛金	5,059,096	4,210,318
電子記録債権	303,379	629,743
商品及び製品	602,547	692,726
仕掛品	54,774	49,298
原材料及び貯蔵品	50,780	54,307
繰延税金資産	43,400	37,999
その他	33,858	36,513
貸倒引当金	△2,687	△2,746
流動資産合計	9,272,542	10,112,689
固定資産		
有形固定資産		
土地	878,612	878,612
その他(純額)	310,083	487,035
有形固定資産合計	1,188,695	1,365,648
無形固定資産	13,549	106,414
投資その他の資産	911,051	928,987
固定資産合計	2,113,296	2,401,050
資産合計	11,385,839	12,513,739
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,453,102	2,400,151
電子記録債務	2,628,917	3,640,335
1年内返済予定の長期借入金	822,327	674,270
未払法人税等	97,593	48,113
賞与引当金	80,000	39,024
その他	491,930	506,902
流動負債合計	6,573,870	7,308,796
固定負債		
社債	450,000	350,000
長期借入金	1,559,140	1,597,127
繰延税金負債	20,868	32,533
退職給付に係る負債	580,650	581,977
長期未払金	84,950	84,950
資産除去債務	12,744	12,898
その他	13,074	103,155
固定負債合計	2,721,428	2,762,642
負債合計	9,295,299	10,071,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	1,323,238	1,649,003
自己株式	△28,665	△29,090
株主資本合計	2,006,578	2,331,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,246	105,519
為替換算調整勘定	11,715	4,861
その他の包括利益累計額合計	83,961	110,381
純資産合計	2,090,540	2,442,300
負債純資産合計	11,385,839	12,513,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	14,278,813	14,852,985
売上原価	12,806,582	13,168,503
売上総利益	1,472,230	1,684,482
販売費及び一般管理費	1,189,635	1,220,002
営業利益	282,594	464,479
営業外収益		
受取利息	2,792	2,589
受取配当金	4,453	5,196
受取賃貸料	8,873	6,453
仕入割引	6,434	6,279
助成金収入	544	120
その他	9,163	8,625
営業外収益合計	32,261	29,263
営業外費用		
支払利息	48,809	40,367
その他	2,149	3,393
営業外費用合計	50,959	43,761
経常利益	263,896	449,981
税金等調整前四半期純利益	263,896	449,981
法人税等	61,632	99,896
四半期純利益	202,263	350,085
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,263	350,085

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	202,263	350,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,772	33,272
為替換算調整勘定	△4,830	△6,853
その他の包括利益合計	△3,058	26,419
四半期包括利益	199,204	376,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,204	376,504
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,229,885	1,048,928	14,278,813	—	14,278,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107,377	826,767	934,145	△934,145	—
計	13,337,262	1,875,695	15,212,958	△934,145	14,278,813
セグメント利益	197,738	63,081	260,820	21,774	282,594

(注) 1. セグメント利益の調整額21,774千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,677,558	1,175,426	14,852,985	—	14,852,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,921	726,074	761,995	△761,995	—
計	13,713,480	1,901,500	15,614,981	△761,995	14,852,985
セグメント利益	243,675	202,924	446,600	17,879	464,479

(注) 1. セグメント利益の調整額17,879千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。